



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月8日

上場会社名 中央自動車工業株式会社  
 コード番号 8117 URL <https://www.central-auto.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 信一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 住吉 哲也

TEL 06-6443-5192

四半期報告書提出予定日 2022年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	22,175	15.7	4,608	33.8	5,043	28.8	3,430	31.5
2021年3月期第3四半期	19,166	10.1	3,443	5.5	3,915	0.5	2,608	24.6

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 3,366百万円 (14.9%) 2021年3月期第3四半期 2,929百万円 (18.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	187.13	
2021年3月期第3四半期	142.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	40,974	35,743	87.2	1,947.35
2021年3月期	39,386	33,536	85.1	1,828.71

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 35,711百万円 2021年3月期 33,505百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		28.00		32.00	60.00
2022年3月期		34.00			
2022年3月期(予想)				32.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	7.0	6,100	12.8	6,700	11.6	4,500	16.5	245.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	20,020,000 株	2021年3月期	20,020,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,681,373 株	2021年3月期	1,698,124 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	18,330,234 株	2021年3月期3Q	18,309,990 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を経過的な取扱いに従って適用し、当該基準等に基づき収益を認識しております。なお、当該基準等適用による売上高への影響は軽微であります。詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)(収益認識に関する会計基準等の適用)」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及に伴う感染者の減少等により緩やかな回復基調となりましたが、新たな変異株による感染拡大も懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

4～12月の国内新車総販売台数(軽を含む)は、半導体不足や海外生産部品の調達難等による自動車メーカーの減産が響き、前年同期比6.5%減の約302万台となりました。内訳は、登録車が同5.1%減の約191万台、軽自動車と同8.7%減の約111万台となり、コロナ禍により落ち込んだ昨年実績を下回りました。

このような環境下、当社グループは、感染防止対策の徹底を継続し、変動する市場環境を慎重に見極め、付加価値の高いオリジナル商材の拡販と新規ビジネスの拡大および得意先との関係強化に注力いたしました。

これにより、当社グループの売上高は221億75百万円(前年同期比116%)、営業利益は46億8百万円(同134%)、経常利益は50億43百万円(同129%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億30百万円(同131%)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

## (自動車部品・用品等販売事業)

当セグメントにおきましては、国内部門では、新車販売の減少による影響を最小限に食い止めるため、地域密着型営業による新商品を含めた高付加価値商材の提案強化と新規開拓に注力するとともに、新たな法改正を見据えたアルコール検知器のブランド構築に努めました。

海外部門では、新規提案活動と需要の取り込みを継続するとともに、依然として国際物流の逼迫が続くなか、供給体制の維持・確保に努めました。

これにより、売上高は180億86百万円(前年同期比116%)、セグメント利益につきましては43億39百万円(同116%)となりました。

## (自動車処分事業)

当セグメントにおきましては、連結子会社の株式会社A B Tは、取扱台数は前年並みの水準に留まりましたが、鉄スクラップ価格の高騰や中古車市場の活況等の支援材料があるなか、引き続き効率的な業務遂行に注力いたしました。

これにより、売上高は40億88百万円(前年同期比113%)、セグメント利益につきましては2億67百万円(前年同期セグメント損失2億87百万円)となりました。なお、前第3四半期連結累計期間においては、株式会社A B Tの子会社化に伴う無形固定資産の減価償却費4億25百万円を計上しておりましたが、当該無形固定資産の償却につきましては、2020年11月をもって終了しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を分析しますと、

① 総資産合計は409億74百万円と前連結会計年度末に比べて15億88百万円増加しております。

増加の主なものは、現金及び預金が11億48百万円及び有価証券が5億円、商品及び製品が4億56百万円あります。

減少の主なものは、受取手形及び売掛金が4億円、のれんが2億86百万円あります。

② 負債合計は52億30百万円と前連結会計年度末に比べて6億18百万円減少しております。

増加の主なものは、支払手形及び買掛金が2億40百万円あります。

減少の主なものは、未払法人税等が6億42百万円及び賞与引当金が1億47百万円あります。

③ 純資産合計は357億43百万円と前連結会計年度末に比べて22億6百万円増加しております。

増加の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益が34億30百万円あります。

減少の主なものは、配当金の支払いにより利益剰余金が12億16百万円あります。

なお、自己資本比率は、85.1%から87.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想（2021年5月14日公表）につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しておりますので、現時点における業績予想値の変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,265	12,414
受取手形及び売掛金	3,335	2,934
有価証券	-	500
商品及び製品	1,092	1,548
仕掛品	8	7
原材料及び貯蔵品	13	15
その他	326	369
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	16,036	17,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,020	1,119
土地	2,597	2,597
その他(純額)	240	199
有形固定資産合計	3,859	3,916
無形固定資産		
のれん	4,482	4,196
その他	136	117
無形固定資産合計	4,619	4,314
投資その他の資産		
投資有価証券	12,906	13,186
長期貸付金	659	659
繰延税金資産	561	364
その他	744	748
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	14,870	14,958
固定資産合計	23,349	23,188
資産合計	39,386	40,974
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,895	2,135
未払法人税等	1,116	474
賞与引当金	395	247
その他	1,208	1,151
流動負債合計	4,616	4,009
固定負債		
退職給付に係る負債	1,122	1,100
その他	109	120
固定負債合計	1,232	1,221
負債合計	5,849	5,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	4,732	4,782
利益剰余金	27,423	29,637
自己株式	△612	△606
株主資本合計	32,544	34,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	972	889
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	15	18
退職給付に係る調整累計額	△25	△10
その他の包括利益累計額合計	960	896
非支配株主持分	31	32
純資産合計	33,536	35,743
負債純資産合計	39,386	40,974

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	19,166	22,175
売上原価	11,030	13,201
売上総利益	8,136	8,973
販売費及び一般管理費	4,692	4,365
営業利益	3,443	4,608
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	82	95
受取賃貸料	37	38
持分法による投資利益	340	294
その他	39	34
営業外収益合計	509	471
営業外費用		
売上債権売却損	11	14
支払手数料	5	5
賃貸収入原価	14	14
その他	5	1
営業外費用合計	37	35
経常利益	3,915	5,043
特別損失		
貸倒損失	116	-
特別損失合計	116	-
税金等調整前四半期純利益	3,799	5,043
法人税、住民税及び事業税	1,238	1,415
法人税等調整額	△48	197
法人税等合計	1,190	1,612
四半期純利益	2,609	3,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,608	3,430

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	2,609	3,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	264	△147
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△2	2
退職給付に係る調整額	15	15
持分法適用会社に対する持分相当額	42	64
その他の包括利益合計	320	△63
四半期包括利益	2,929	3,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,928	3,366
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引において、従来は主に有償支給した商品について消滅を認識しておりましたが、当該取引において買い戻す義務を負っていることから、有償支給した商品について消滅を認識しないことといたしました。なお、当該取引において支給品の譲渡に係る収益は認識しておりません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価が79百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益への影響はありません。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,560	3,605	19,166	—	19,166
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,560	3,605	19,166	—	19,166
セグメント利益又は損失(△)	3,730	△287	3,443	0	3,443

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
国内	11,680	4,088	15,768	△0	15,768
海外	6,406	—	6,406	—	6,406
顧客との契約から生じる収益	18,086	4,088	22,175	△0	22,175
外部顧客への売上高	18,086	4,088	22,175	—	22,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	18,086	4,088	22,175	△0	22,175
セグメント利益	4,339	267	4,607	0	4,608

- (注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
2. 売上高、及びセグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。  
3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国内と海外に分類しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用したため、売上高を国内と海外の区分に分解して記載しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。